優しさとたくましさ、

新潟県・上越市・十日町市

越後の田舎で伝えます。自然や暮らしの中での「優しさと逞しさと」

新潟県上越市、十日町市は市町村合併から10年が過ぎました。かつて20年前の「この町」に七つもあった小学校は、一つに統合され、それも間もなく複式学級（二つの学年が一緒に学ぶ）にならざるを得ない現実があります。過疎化、高齢化、豪雪など厳しい自然環境……住みたくてもここで暮らすことのできない人たちが、合併後にますますこの地域を離れていきます。それでも、昭和の時代からは考えられないくらい便利な時代になり、機械化が進み、暮らしもずっと楽になりました。変わらないのは、この自然とこの地域を愛する人々です。

越後田舎体験事業で児童、生徒を受け入れ始めて今年で17年目となります。この事業を支えていただいているのは地元の方々です。それも多くの経験を積んでこられた方々であり、その暮らしの中に知恵や技術を持っています。

団体、4万5千人の方が上越市と十日町市に民泊でお泊りいただきました。ほんの1泊か2泊の滞在ではありますが、田舎やその暮らし、人の温かさを感じていただいています。

これからも自然や暮らしの中での「優しさと逞しさ」を伝えることができればと思っています。皆さまのお越しを心からお待ちしております。

民泊・ホームステイ

私たち地域では民泊（ホームステイ）の受け入れを行っています。民家の方と過ごして体験・交流することで何か感じるものがあるようです。受け入れに協力いただく多くはお年寄りですが、300軒以上の民家が「何かを伝えたい」と考え、生徒との交流を通じて元気をいただいています。

田植え体験

素足で田んぼに入り、手植えをしていただきます。

信濃川のラフティング

日本一の川「信濃川」でのラフティングができます。激流がないので安心して、周りの自然環境を観察しながら、川下りの醍醐味を体験していただきます。

田舎料理体験

地元の食材を使った田舎料理を地元の方と作り、味わいます。

雪国体験

とにかく雪はたくさん降ります。3～4㍍の積雪のある地域での雪国体験です。雪をエネルギーとして利用している施設の見学も可能で、自然エネルギーの活用も学ぶことができます。

おられます。これから多くのことを学んでいく高校生の皆さんにぜひ、昔の暮らしや考え方を見て、聞いて、触れて、味わうなど貴重な体験の中で、必ず思い出に残る旅となると考えます。

これまで、延べ428（ホームステイ）の受け入れを行っています。民家の方と過ごして体験・交流することで何か感じるものがあるようです。受け入れに協力いただく多くはお年寄りですが、300軒以上の民家が「何かを伝えたい」と考え、生徒との交流を通じて元気をいただいています。

田植え体験

素足で田んぼに入り、手植えをしていただきます。

信濃川のラフティング

日本一の川「信濃川」でのラフティングができます。激流がないので安心して、周りの自然環境を観察しながら、川下りの醍醐味を体験していただきます。

田舎料理体験

地元の食材を使った田舎料理を地元の方と作り、味わいます。

雪国体験

とにかく雪はたくさん降ります。3～4㍍の積雪のある地域での雪国体験です。雪をエネルギーとして利用している施設の見学も可能で、自然エネルギーの活用も学ぶことができます。

素足で田んぼに入り米どころ新潟で田植え体験

民泊先での苗運び

雪山ハイキング

雪中貯蔵施設

越後田舎体験の特徴

①日本海の長い海岸線と、米どころ新潟の広い平野、そして棚田やブナ林がある日本の原風景が残る中山間部を持つ越後田舎体験のエリアは、自然・環境・歴史民俗学習の適地です。

②あらゆる体験プログラムは土地の人がインストラクターとして関わります。

③企画コーディネート（手配、連絡、調整、精算）は協議会事務局で承ります。

④広域で仲間が連携、協力して受け入れを行います。

越後田舎体験推進協議会
通常営業時間　8：30～17：30（月～金、祭日・年末年始等休み）＊時間外でも電話してみてください
〒942-0411 新潟県上越市安塚区安塚722-3 雪だるま財団内
TEL 025-592-3988　FAX 025-592-3324
E-mail taiken@yukidaruma.or.jp
http://www.echigo-inakataiken.jp/

福井県・若狭美浜

ここには人間を育てる力がある 人生の先輩に学ぶ旅

福井県若狭美浜は、北陸新幹線が開業した金沢駅から2時間以内です。また、古来から京の都に続く道としての役割を担ってきました。京都から約2時間の美浜には日本の故郷の風景があります。山には木々が生い茂り、清らかな川や湖には魚棲み、町の名の通り日本海に面した美しい浜が続きます。

人々は自然の恵みを頂き、それを生業としてきました。「若狭美浜はあとふる体験」は、このような資源を生かし、「漁業」「農林業」「自然・アウトドア」「味覚」「工芸・歴史文化」とバリエーションに富んだプログラムを整えています。

現代では、人とどう接し、どのように人間関係を構築すべきか分からない人が増えているようです。初めて訪れる土地で初めて会う人とコミュニケーションを図るには相手を気遣い、歩み寄る努力が必要です。学校という日常を離れ、初めて行う体験を通して、新たな自分を発見、またはそれまで気付くことがなかった仲間の長所を発見する子どもがいます。「若狭美浜はあとふる体験」では、体験することが目的ではなく、その体験を通した「人」と「人」との交流に価値があると考えており、その交流から生まれる「心の高まり」を大事にしています。

民泊体験

ありのままの生活をともにすることで、「田舎の温かさや人とのつながりの大切さ」を伝えたいと08年度から受け入れを始めた民泊体験は、約110軒の簡易宿所登録があり、年々増加しています（15年3月現在）。

子どもたちは、初めて出会う新たな家族と緊張の面持ちで対面します。けれど、一緒に食事の準備をし、みんなで食卓を囲んで団欒するうちに、互いに歩み寄ろうとすることから交流が生まれます。ここで、大人や異年齢の他人との交流の方法を学ぶのです。受け入れ家庭も、たった1泊とはいえ、子どもたちの話を聞くうちに親しみを覚え、別れの際には「またおいで」と声をかけます。

修学旅行が終わり、日常に戻った生徒たちから、卒業後の進路について手紙が届くことがあります。受け入れ家庭では我が子のように彼らの成長や進学、就職を喜びます。偶然結ばれた数日間の縁がそれきりにならず、絆がつながっていくところに美浜の民泊体験の魅力があります。

ボート体験

「若狭美浜はあとふる体験」特有のプログラムがこのボート体験。チームワークの大切さを肌で感じ、人間関係を構築する能力を育むことができる人気プログラムです。

漕ぎ手4人とコックス（舵とり）1人が艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。「一艇ありて一人なし」という言葉のように、1人が頑張っても速く進まず、全員の呼吸が一つになった時、初めて湖面を滑るように進むことができます。それぞれが自分の役割を理解し、その役割を全うしようと努めることで、信頼関係が生まれ、体験を終えた後には仲間と一つになった喜びを感じられること間違いありません。

大敷網体験・食体験

大敷網は、若狭湾の豊かな海に敷き広げておいたスケールの大きな網を、漁師が船で取り囲み、引き上げていく若狭地方の伝統漁法です。漁師と一緒に網を巻き上げることで、漁業の大変さや喜びを学ぶことができるキャリア体験の機会となります。食育体験では、先刻までピチピチと飛び跳ねていた活きのよい魚を自分の手でさばくことで、まさにその命を自分がいただいているという実感が生まれます。

「若狭美浜はあとふる体験」では、初めて出会う人と交流を深め、学校生活をともにする仲間と同じ達成感を味わうことができます。一生に1度の修学旅行。「ほんもの」の体験交流を通して、心の平和、人間関係の構築能力、豊かな人間性を育んでいただきたいと願っています。

心のふれあう民泊家庭でありのままを体験

心を一つにボート体験

地引き網

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
NPO法人 はあとふる美浜ネットワーク
〒919-1122 福井県三方郡美浜町松原35-16-18
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-2239
E-mail:wakasamihama@kl.mmnet-ai.ne.jp
URL http://www.heartful-mihama.com/

滋賀県・近江日野

三方よし！近江日野田舎体験

古都の歴史文化学習と人との交流の両立

近江日野田舎体験で心温まる、心高まる交流を

三方よし！近江日野田舎体験が教育旅行を受け入れて7年目を迎えました。この間、約1万3千人の児童、生徒が近江日野を訪れ、地域の人々や自然、食などとの関わりを学び、心豊かに成長し、巣立ってくれました。欲しいものは直ぐに手に入る時代となり、自然の恵みや野菜、米などの農作物だけでなく、食や食に関わる人々に対する感謝の気持ちも薄れつつあります。支えあい、助けられていることに気付かず、人に対する感謝の気持ちさえも忘れてしまう、そんな時代の中で子どもたちは育っているのではないでしょうか。

教育旅行の引率の先生方は受け入れ家庭で過ごす生徒たちを見て、異口同音に「あんなに豊かな表情は見たことがない」「学校であんな穏やかな表情はしない」と驚きの声を上げられます。

忘れてはならないもの無くしてはならないものが、農山漁村には今なお、深く息づいています。地域の人々は、農林漁業や自然と向き合いながら生業を営み、助けあい、支えあいながら地域を守り続けています。そこには、自然や農産物、支え励まし、してくれる人たちへの感謝の気持ちがあります。緩やかな時間の流れの中で、受け入れ家庭と交わす何気ない会話や互いの気遣いを通して、豊かな心、優しい気持ちが生徒たちの心に芽吹き、自然と穏やかな表情が生まれるのだと私たちは思っています。

近江日野の農村生活体験（民泊）は、先生方の本部宿からわずか15分圏内に150軒の受け入れ家庭を有し、収容人数は600人です。1軒4人を基本に分宿し、その時期にある作業やものづくりなどをそれぞれの家庭で体験します。体験することが目的なのではなく、体験を通して交流を深め、人としての成長を促すことが最も大切だと、近江日野田舎体験は考えています。

古都の歴史文化学習と「三方よし」の精神で取り組む体験交流の両立プラン

日野町は、京都、奈良、名古屋から約1時間半でお越し頂けます。名神高速、新名神高速主要インターからも約30分と、関西圏・中部圏との交通アクセスは大変良好です。また、日野町は「売り手よし　買い手よし　世間よし」の三方よしの精神で全国に名を馳せた近江日野商人発祥の地です。近江日野商人の三方よしの教えに倣い、生徒個々の生きる力を育む近江日野田舎体験と、このような立地の利便性から京都・奈良での歴史文化学習との両立プランは、数多くの学校の皆さまにご支持いただいています。

近江日野に住む者がこの地に生きる理由、誇りを語り、伝え、訪れる側、迎える側それぞれの人々が、自分と自分を取り巻く人々を認め、自分が存在することの意義、価値に気付き、明日の生きる力を得ることができる、人と心が高まる旅「近江日野田舎体験」へのお越しをお待ちしています。

感動の民泊で別れに思わず涙する

本物のトラクターで農業体験

民泊家庭で巻寿司作り

農村生活体験で野菜の収穫

三方よし！近江日野田舎体験推進協議会
（日野町商工観光課内）
担当：中森雅之・西河佳子・福本修一・寺本昌弘
〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
TEL 0748-52-6562　FAX 0748-52-2043
E-mail inakataiken@omi-hino.jp
URL http://www.omi-hino.jp/

奈良県・明日香村

飛鳥はじまりの地、飛鳥 Amazing ASUKA

飛鳥を知らない人は誰もいない。しかし誰も知らない飛鳥がここにある。

「飛鳥」は物事が生まれ、築かれ、国が始まったところ。日本で育つ誰しもが学び、知らない人などいない。だからこそ一生に一度はここを訪れ、その目でしっかりと「国のはじまり」の場所を見てほしい。おいしい空気を吸い、古代から命をつないだ虫や鳥の囀りに耳を傾け、この地で採れた新鮮な作物を食していただきたいと願います。

その地で思いやる心が生まれ、信頼を築き、新しい自分が始まる。それはまさに飛鳥だから意味があり、古代からの遺伝子レベルで感じる何かが存在するのです。

修学旅行生の皆さんにとって飛鳥が新たな心の出発点となってくれるよう心を込めてお手伝いをいたします。

都会から近い原風景

飛鳥（明日香村・高取町・橿原市・桜井市）は京都・大阪から電車でわずか1時間程度。また車でも1時間半ほどの距離に古代を思わせる原風景が広がります。

中でも明日香村は昭和41年7月、古都保存法制定と同時に村全域がその対象地域として指定。銀行やコンビニまでもが瓦屋根に彩色壁など、明日香法により景観が守られています。

また万葉集に登場する飛鳥川・甘樫丘、富本銭が出土した飛鳥池工房遺跡など全域にわたって数多く存在する歴史的文化遺産とこれらの周囲の自然的環境が一体となって形成されていることが大きな特徴です。

民家ステイ体験

飛鳥地域でぜひ体験してほしいのは、古代の遺跡が点在するこの地で人々が育み続けてきたほんものの暮らし。当たり前のように遺跡と日常の生活が原風景の中に溶け込んでいる。そんな環境の中で受け入れ家庭の皆さんと生徒たちが農作業、史跡見学、趣味、食事作り、家業の手伝いなどを通して、深く交流し、共に学び高まり合うことを目的としています。

「大人ってすごい」「ここは近所の人たちみんな仲がいい」「野菜、おいしい」「おじさん怖かったけど、また会いたい」

「ちかちゃん（受け入れ家庭のお母さん）大好き」などと、滞在時間が長い分だけ交流の深さが増して、帰る頃には涙する生徒も少なくありません。

たった1泊あるいは2泊の短い時間に、初めて出会った人同士が共通の目的を持って共通の体験をする場。普段の生活では経験し得ない「心を遣う」交流が、より教育効果を引き出します。現在、登録家庭は150軒を超え、300人の受け入れが可能となりました。

飛鳥地域ならではの学部生たちとともに、ロマンあふれる飛鳥の歴史や文化を学ぶコミュニケーションプログラム。

自転車や徒歩で、飛鳥の史跡を巡る歴史ガイドツアーの他、奈良県立万葉文化館内で歴史文化を学ぶグループワークをご用意。自己紹介に始まり、クイズ形式で歴史を学び、個々の意見を交換、最後のまとめ発表までと、活発な意見が飛び交います。また、近しい年代である大学生との交流だからこそ分かり合え、これから社会に出る生徒たちの心に深い経験をもたらします。

飛鳥の歴史的風土を体感し創造力や発言力、協調性が育まれることを目指します。

都会から近い原風景と呼べる美しい棚田

心通う交流の後で思いもひとしお―離村式

ステイ先で農作業体験

民泊先で能面を学ぶ

あすか歴史探検隊

新発見が続く都塚古墳

あすか歴史探検隊

飛鳥ニューツーリズム協議会
〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5番地（明日香村商工会館内）
TEL 0744-54-1525　FAX 0744-54-1526
E-mail:info@asukacom.jp
URL http://www.asukacom.jp